

私たちの企業は農林水産省
「農」のある暮らしづくりのモデル事業として
国の行政レビューに取り上げられました。



農林水産省「白書」

平成 25 年度 食料・農業・農村の動向
平成 26 年度 食料・農業・農村施策

(第 186 回国会(常会)提出)より

(2) 障害者の周年雇用を目指す福祉農園の取組

埼玉県所沢市の農業生産法人(株)風では、障害者と農業をつなげようと、平成23(2011)年に農業生産法人を設立し、その翌年から就労継続支援A型事業所*として障害者を雇用しています。

同法人では、公共交通機関が整備された都市部の有利性を活かし、障害者が電車で通勤し、ほ場での農作業や生産した野菜の販売に従事しています。

また、露地栽培では天候に大きく左右され、障害者の就労時間に影響が及んでしまうことから、ハウス栽培も導入しています。これにより雇用を安定、拡大するとともに、促成栽培や抑制栽培による付加価値の向上や生産量の拡大による収益の増加を目指しています。

*一般企業等での就労が困難な人に、雇用契約に基づき、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う事業所。



導入した3連棟ハウス

この事業の現地視察の折、農水省関東農政局の方に説明をしています。(高田)



私たちの事業はその後

2014年7月6日東京新聞 2014年6月24日読売新聞に取り上げられました。

埼玉中央

障害者と野菜づくり

ひと物語

農業生産法人「風」社長 高田昌彦さん

「ひと物語」は、障害者と野菜づくりの取り組みを伝える記事。高田昌彦社長が中心となり、障害者を雇用し、農業を通じて自立を促す取り組みが紹介されている。

農業通じ障害者の自立促進

農業生産法人「風」
高田昌彦 代表 73

@オフィス

障害者20人と社員6人による株式会社です。所沢市などの畑で野菜を生産し、直売所の「野菜たち集まれ市場 ぶんぶん」(同市中新井)で、採れたての新鮮野菜などを販売しています。農業を通じ、障害者の自立に取り組む企業です。

障害者の雇用問題と、農家の労働力不足を解決したいという思いで2011年に法人を設立し、12年3月に障害者20人と社員6人による株式会社です。所沢市などの畑で野菜を生産し、直売所の「野菜たち集まれ市場 ぶんぶん」(同市中新井)で、採れたての新鮮野菜などを販売しています。農業を通じ、障害者の自立に取り組む企業です。

障害者にあわせ、各自のペースで働きます。支援ではなく、自立してもらうため、一般企業と同様に厳しく指導もしません。目指すのは、「障害者の生産野菜だから買う」のではなく、「安心で、おいしいから買う」と言われることです。

障害者20人と社員6人による株式会社です。所沢市などの畑で野菜を生産し、直売所の「野菜たち集まれ市場 ぶんぶん」(同市中新井)で、採れたての新鮮野菜などを販売しています。農業を通じ、障害者の自立に取り組む企業です。

障害者にあわせ、各自のペースで働きます。支援ではなく、自立してもらうため、一般企業と同様に厳しく指導もしません。目指すのは、「障害者の生産野菜だから買う」のではなく、「安心で、おいしいから買う」と言われることです。

障害者20人と社員6人による株式会社です。所沢市などの畑で野菜を生産し、直売所の「野菜たち集まれ市場 ぶんぶん」(同市中新井)で、採れたての新鮮野菜などを販売しています。農業を通じ、障害者の自立に取り組む企業です。

障害者にあわせ、各自のペースで働きます。支援ではなく、自立してもらうため、一般企業と同様に厳しく指導もしません。目指すのは、「障害者の生産野菜だから買う」のではなく、「安心で、おいしいから買う」と言われることです。